

# 石狩市立花川小学校

指定年度：H24～  
児童数：276名

## 1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

- メンター研修の推進による中堅・若手教員の計画的な育成及び全教職員による課題の明確化や改善策の決定に課題があったことから、以下の取組を重点的に進めた。
- ① グランドデザインによる目標の提示と方向性の共有
    - ・学校教育目標を具現化するため、目指す児童像、育成を目指す資質・能力、資質・能力を育てるための手立て、実践の成果を確認する視点などを全教職員で共有し、チーム力の向上の推進
    - ・グランドデザインで示した取組を推進するための組織編成の工夫
  - ② 校内組織体制づくりのコンセプトの明確化
    - ・若手教職員を育てるサポート体制の確立（学年、分掌、研修：若手を支える組織体制）
    - ・学級担任の業務軽減をサポートする専科教員による指導体制づくり（書写、家庭科、図画工作科等）
    - ・特別対策委員会による組織的なサポート（特別支援教育コーディネーターを中心に学級担任をサポートする支援体制の確立）
  - ③ 次世代リーダーを計画的に輩出するための人材育成
    - ・目指す目標や方向性、役割を明確化した教職員育成用のグランドデザインの作成及び指標の提示
    - ・授業観察、教材研究、授業公開、事後協議を通じた初任段階教員の計画的な育成
    - ・定期的なメンター研修や日常の研修を通じた初任段階教員、中堅教員、ベテラン教員などの段階に応じた業務に対する意識の向上及び互いに相談しやすい環境づくりの推進
    - ・教職員のスキルアップや実践交流など、近隣校との合同研修の実施



【メンター研修】



【合同研修会】

## 2 取組の成果と課題（□：成果 ■：課題）

- 9年間の学校力向上に関する総合実践事業を通じた取組の積み重ねに加え、教育目標をグランドデザインで示すとともに、育成を目指す資質・能力の具現化に向けた手立てを整理したことにより、全教職員で統一した取組を推進することができた。
- 対応が難しい課題に対して、チームで解決にあたる体制を確立し、深刻化する問題を未然に防ぐなど、個々の負担を大きく軽減することにつながることができた。また、諸課題に対応する若手教員の力量の向上を図ることができた。
- テーマを設けたメンター研修を中心に、若手教員をサポートする体制を充実させることで日常的に相談しやすい土壌を生み出し、教職員集団の連携の強化を進めることができた。また、若手教員の育成に加え、中堅教員、ベテラン教員による若手教員を育てるという意識を高めることができた。
- 学校力向上に関する総合実践事業を通して築き上げてきた取組を、事業終了後の次年度以降も継続するために、若手教員や学級担任の業務をサポートするための校内体制の構築を進める必要がある。

【アドバイザーから】 NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム理事長 新保 元康氏  
どの学校も抱える〈対応が難しい課題〉。それに正面から対応する学校力の向上が素晴らしいです。「チームとしての解決体制」「日常的に相談しやすい土壌」「全職員で統一した取組」「メンター研修推進」「次世代リーダー」などの言葉の中に、具体的な手立てが感じられ、「学校の決意」が見えました。GIGA スクールが始まります。言わば学校のデジタル化です。最初は戸惑いもあると思いますが、これまでの取組につなげて、さらなる学校力の向上を期待します。